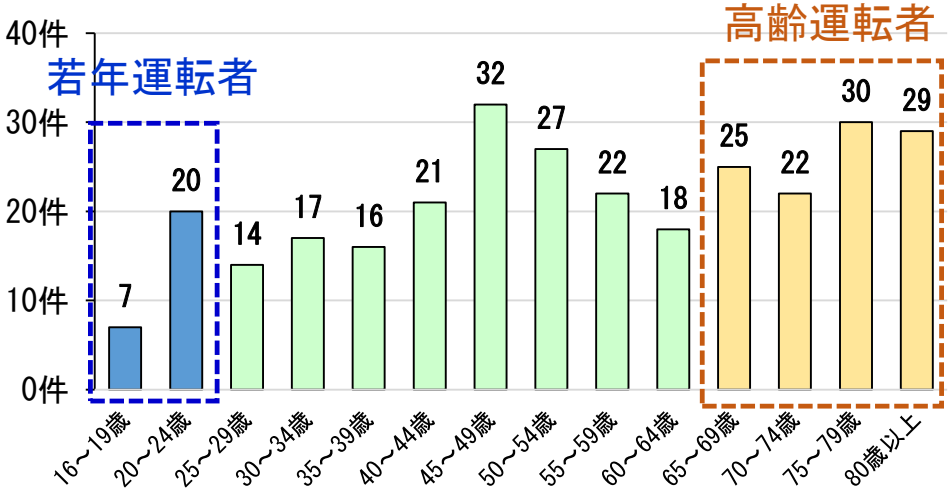
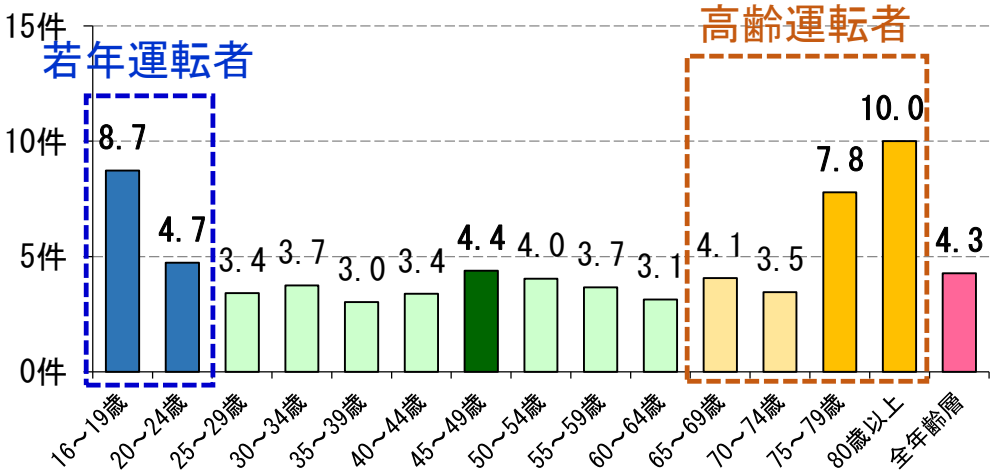
運転者の年齢層別・死亡事故

～　原付以上運転者（第１当事者）の死亡事故（５年間・H30～R４）　～

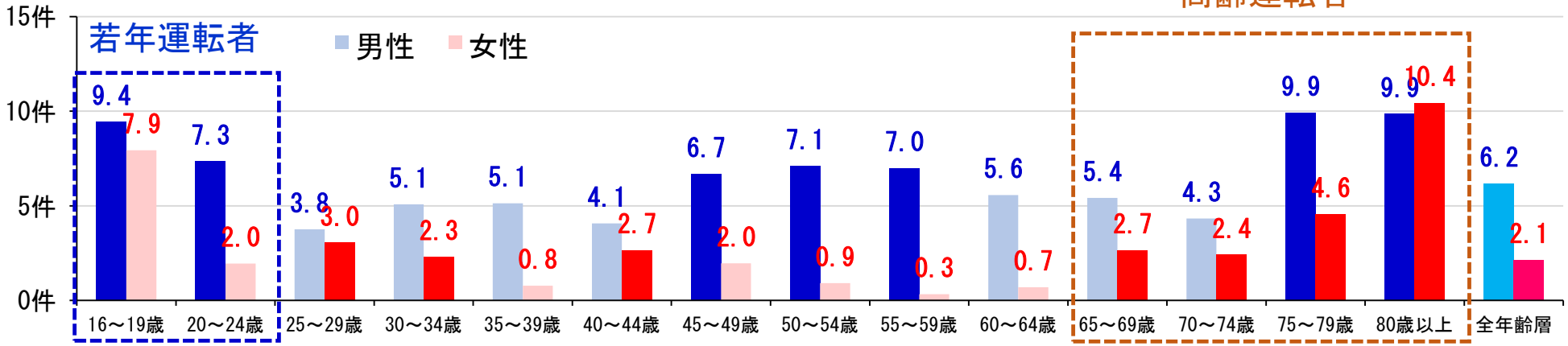
年齢層別・死亡事故件数（５年間計）



年齢層別・運転免許保有者10万人当たりの死亡事故件数



≪　男女別≫



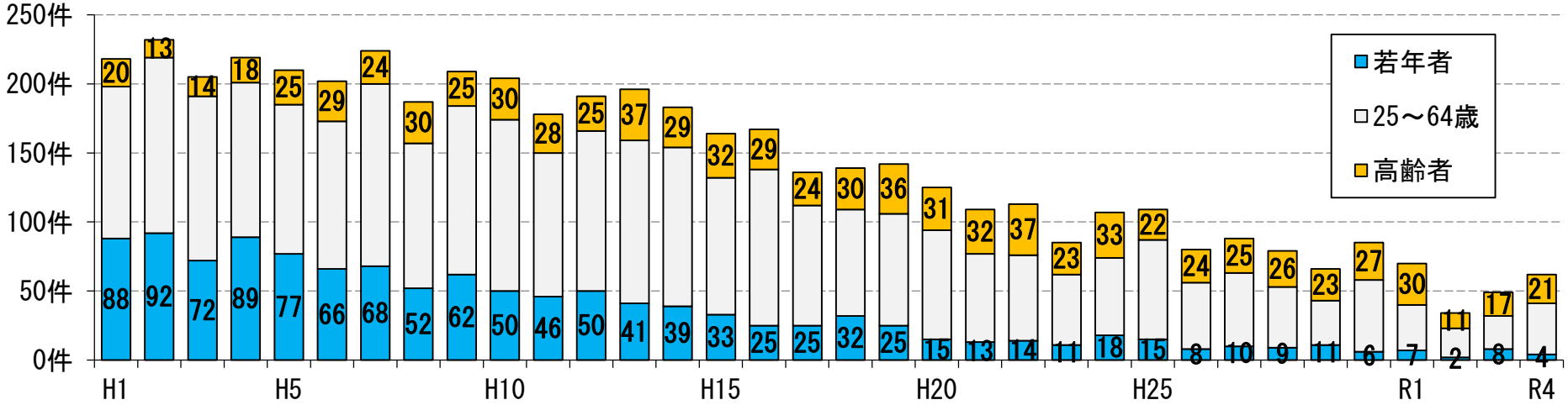
死亡事故を起こした運転者を年齢層別に免許保有者10万人当たりの事故件数を見ると、男性、女性とも19歳以下の事故率が最も高いほか、男性は75歳以上、女性は80歳以上の事故率が高い。

若年・高齢運転者による死亡事故分析

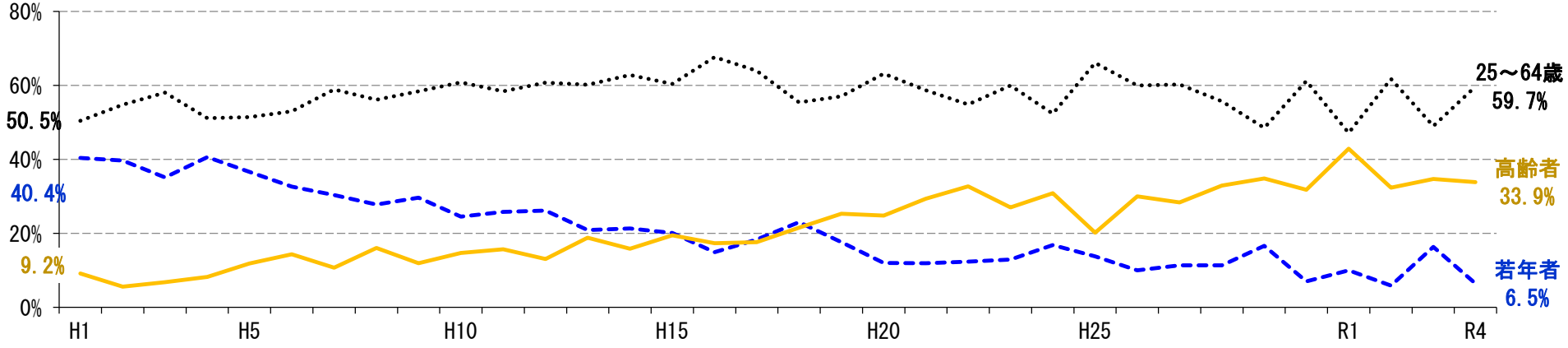
～　原付以上運転者（第１当事者）の死亡事故（５年間・H30～R４）　～

≪　各運転者事故（第１当事者）の発生状況推移　≫

※　若年：24歳以下　高齢：65歳以上



≪　発生状況推移（全運転者事故に占める率）　≫

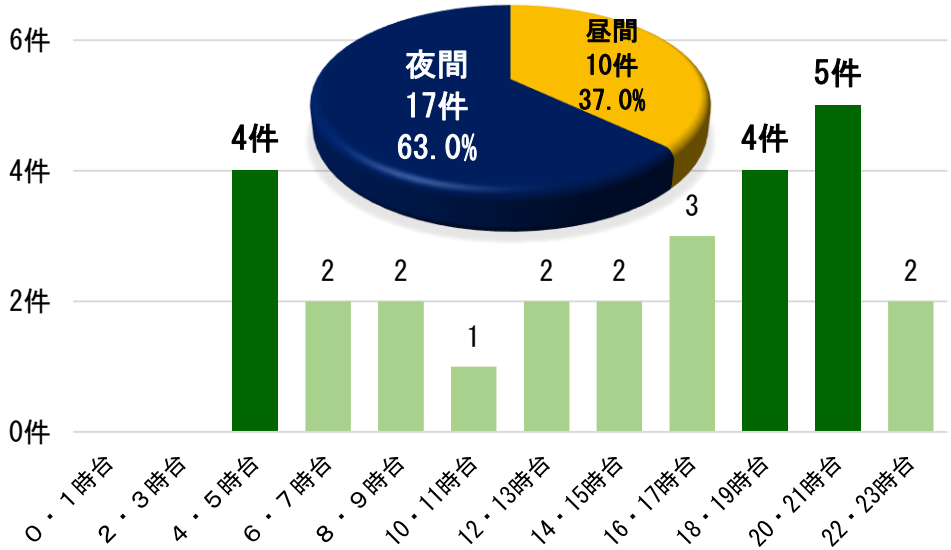


若年（24歳以下）、一般層の運転者による死亡事故は減少傾向にあるが、高齢（65歳以上）運転者による死亡事故は顕著な減少はみられない。

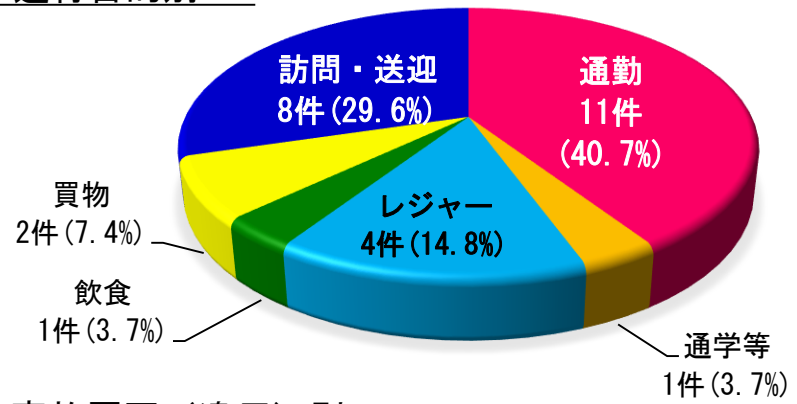
また、全運転者事故に占める若年運転者の割合は全体的に減少傾向にある一方、高齢運転者の割合は増加傾向にあり、近年は30%を超え、高い率で推移している。

若年運転者による死亡事故

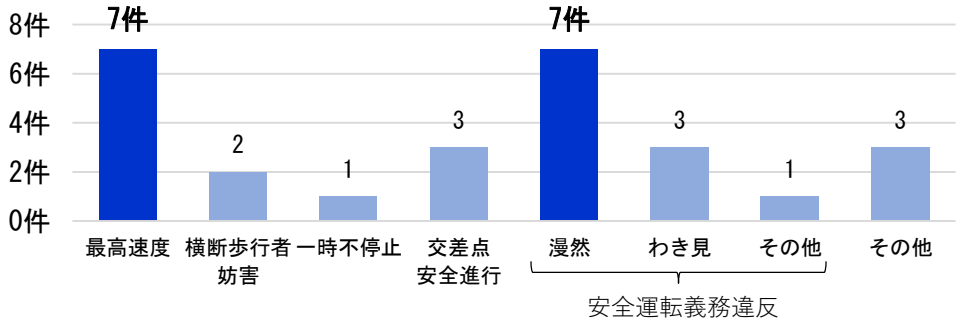
≪ 昼夜・発生時間帯別 ≫



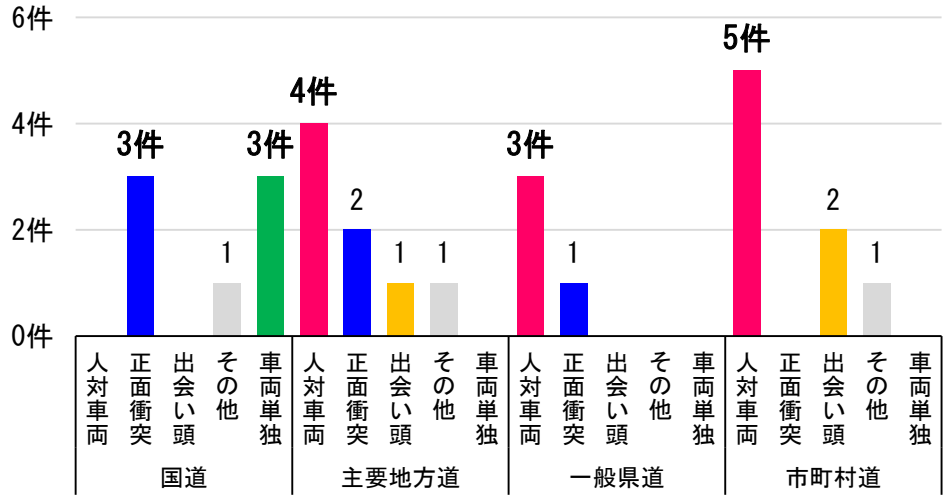
≪ 通行目的別 ≫



≪ 事故原因（違反）別 ≫



≪ 路線・事故類型別 ≫



≪ 若年運転者の特徴 ≫

・夜間の発生が６割強を占め、18時台から21時台の発生が多い

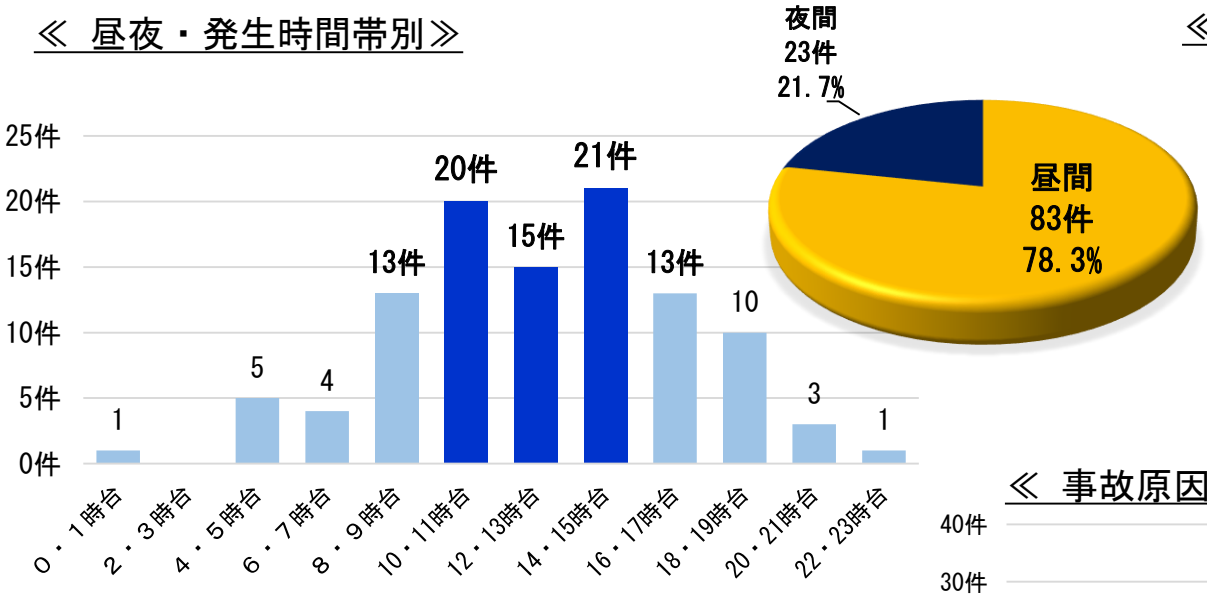
・国道での正面衝突や単独事故が多く、国道以外では歩行者をはねる事故が多い。

・通勤時の事故が多く、次いで訪問等、レジャーでの事故が多い。

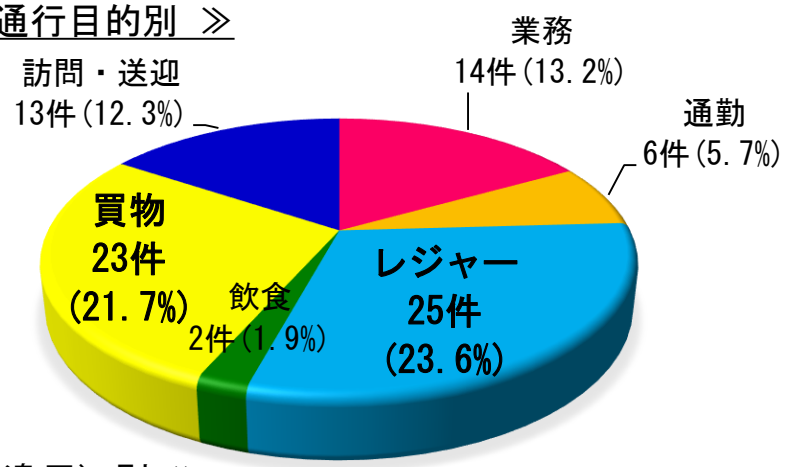
・速度超過や漫然運転による事故が多い。

高齢運転者による死亡事故

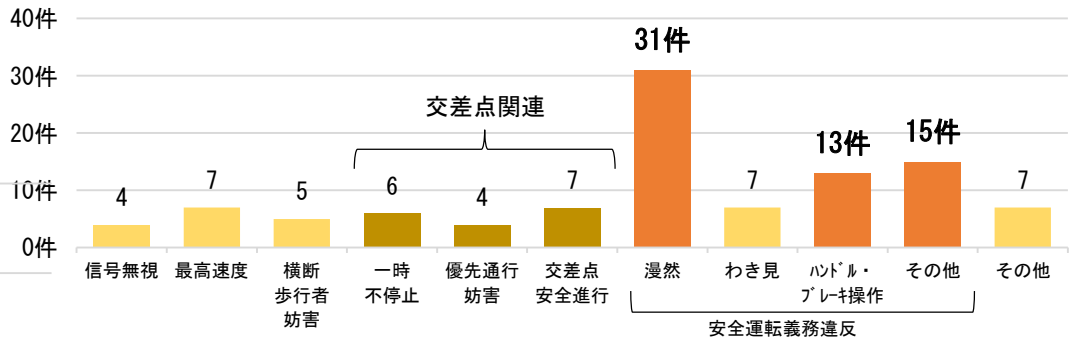
≪ 昼夜・発生時間帯別≫



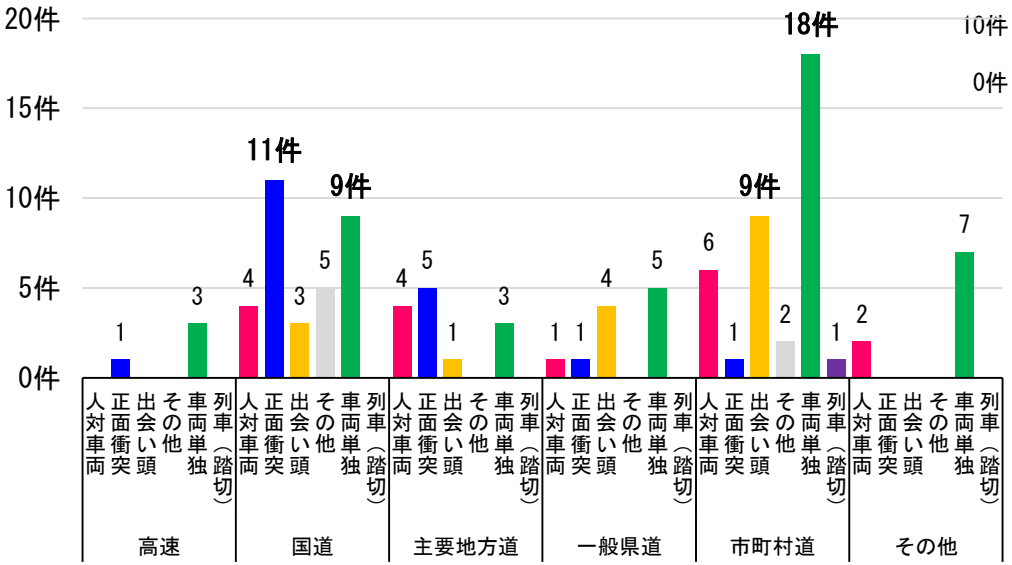
≪ 通行目的別 ≫



≪ 事故原因（違反）別 ≫



≪ 路線・事故類型別 ≫



≪ 高齢運転者の特徴 ≫

・昼間の発生が約８割を占め、10時台から15時台の発生が多い。

・市町村道での単独事故、国道での正面衝突事故が多い。

・漫然運転や運転操作不適による事故、交差点関連の違反による事故が多い。

・レジャーや買い物時の事故が多い。